

第5章

計画の推進

第1節 推進体制

- 1 実効性の確保と点検・評価
- 2 県民との協働
- 3 市町村等との連携

第2節 推進指標

第1節 推進体制

1 実効性の確保と点検・評価

本県を含め我が国の社会は、現在、様々な面で大きく変化しようとしています。これからの将来を予測することが困難な変化の激しい時代であるからこそ、「教育」への期待は大きく、「人づくり」の重要性が一層高まっています。

本計画に掲げる「未来を切り拓く 心豊かでたくましい 宮崎の人づくり」の実現に向け、力強く各施策及び取組を推進していく必要があります。

このため、本県の財政事情を踏まえながら各施策の推進に必要な予算の確保に努めていきます。

また、本計画の実行にあたっては、P D C Aサイクル*1の考え方にに基づき、施策推進のための「推進指標」を定め、毎年、各施策の進捗状況等の「点検・評価」を行って、その結果を次年度以降の施策の実施に反映させ、本計画の実効性を高めていきます。

なお、計画期間中であっても、社会情勢や教育をめぐる状況等に大きな変化が生じた場合は、これに対応するため、必要に応じて計画を見直します。

2 県民との協働

本計画を推進していくためには、効果的かつ円滑に各施策が展開されるよう、学校・家庭・地域はもとより、企業やN P O・市民団体等の多様な主体（県民）が一体となり、連携・協働して「県民総ぐるみ」で取組を進めることが大切です。

県民一人一人が、それぞれの責任と役割を自覚し、本計画に掲げる「未来を切り拓く 心豊かでたくましい 宮崎の人づくり」の実現に向けて、教育に関わっていくことが必要です。

3 市町村等との連携

市町村においては、それぞれの地域の実情や課題に応じて、地域の特色を生かしつつ、工夫された教育活動が行われています。そのような市町村の取組と本計画の施策が呼応しながら、つながり合って更に効果を高め、県全体でよりよい教育が推進されるよう努めていくことが重要です。

学校においては、教職員が一体となり「チーム学校」として取り組む意識・姿勢が大切です。そのためには、県立学校はもとより市町村立学校においても、本計画についての理解と認識を深め、それぞれ必要な取組を着実に進めていく必要があります。

また、家庭や地域の教育力の向上など、地域ぐるみの教育の推進等においても、県と市町村が、連携・協働して取組を進めることが重要です。

このため、県教育委員会は、今後とも、市町村教育委員会の取組を尊重しつつ、十分な意見交換等を行い、施策の推進を図っていきます。

*1 事業活動における管理業務を円滑に進める手法の一つ。P l a n（計画）→D o（実行）→C h e c k（評価）→A c t（改善）の4段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善する。

第2節 推進指標

本計画の実効性を高めるため、施策推進のための「推進指標」を設定します。この指標に基づき、毎年、各施策の取組の進捗状況等について「点検・評価」を行い、取組の工夫・改善を図りながら、計画の着実な推進に努めます。

目標値については、可能な限り高いものを求めて取り組むことが必要と考えていますが、現状値を踏まえ、実効性のある評価を行うために、令和4年度までに到達を目指すものとして設定しました。

なお、現状値は、それぞれの指標の特性や過去のデータの推移等を踏まえて、適切に設定することとし、可能な限り、直近となる平成30年度までのデータを反映させています。

施策	推進指標	現状値 [年次]	目標値	出典及び算出方法等
施策1	日頃から生涯学習に取り組んでいる県民の割合	53.8% [H27～ H30平均]	55.0% 以上	○宮崎県県民意識調査 ○「日ごろから自分の生活の充実や仕事の技能の向上、自己啓発等のための学習に取り組んでいますか」という問いに対して、「取り組んでいる」又は「少し取り組んでいる」と回答した割合（5段階評価）
	子どもが規則正しく生活できていると感じる保護者の割合	91.2% [H27～ H30平均]	95.0% 以上	○みやざきの教育に関する調査 ○「子どもの生活習慣づくりの取組を通して、お子さんとの会話が増えたり、お子さんが規則正しく生活できていると感じますか」という問いに対して、「そう感じる」又は「ある程度そう感じる」と回答した割合（4段階評価）
施策2	学校が地域の意見も取り入れながら、地域と一緒に子どもを育てるための取組を進めていると捉えている地域住民の割合	90.4% [H29～ H30平均]	91.0% 以上	○みやざきの教育に関する調査 ○「あなたの地域の学校では、地域の意見も取り入れながら、地域と一緒に子どもを育てるための取組を進めていますか」という問いに対して、「取り組んでいる」又は「ある程度取り組んでいる」と回答した割合（5段階評価）
施策3	県内公共図書館の年間貸出総数	3,918,881冊 [H29]	4,012,000冊	○県立図書館調べ ○県立図書館及び公立図書館の個人貸出、県立図書館から公立図書館や学校等への貸出、公立図書館等の団体貸出等の貸出総数
	読書が好きな小中学生の割合	77.5% [H27～ H30平均]	80.0% 以上	○県学校図書館及び読書に関する調査 ○「読書が好きですか」という問いに対して、「好き」又は「どちらかといえば好き」と回答した小学校及び中学校の全学年の児童生徒の割合（4段階評価）

施策	推進指標	現状値 [年次]	目標値	出典及び算出方法等
施策4	幼稚園・保育所・認定こども園の職員と小学校の教諭等が「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有して意見交換や合同の研修会等を行っている幼児教育・保育関係施設の割合	54.0% [H30]	70.0%	○県こども政策課調べ ○「幼稚園・保育所・認定こども園の職員と小学校の教諭等が『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿』を共有して意見交換や合同の研修会等を行っていますか」という問いに対して、「年3回以上行っている」又は「年2回行っている」又は「年1回行っている」と回答した幼児教育・保育関係施設の割合（4段階評価）
施策5	全国学力・学習状況調査における本県の平均正答数 (教科合計) 全国の平均正答数 (教科合計) ×100	98.9 [H27～ H30平均]	100.0	○全国学力・学習状況調査 ○小学6年生及び中学3年生を対象に実施する学力調査（全教科）における本県の平均正答数（教科合計）／全国の平均正答数（教科合計）に100を掛けた数値
施策6	「自分には良いところがある」と思う児童生徒の割合	小78.7% 中74.4% 高72.4% [H27～ H30平均]	小80.0% 中75.0% 高75.0%	○みやぎきの教育に関する調査 ○「自分にはよいところがあると思う」という問いに対して、「とてもあてはまる」又は「ある程度あてはまる」と回答した小学5年生、中学2年生、高校2年生の割合（4段階評価）
	「人権が尊重されている学校になっている」と思う児童生徒の割合	小85.8% 中80.1% 高79.9% [H27～ H30平均]	小90.0% 中85.0% 高85.0%	○みやぎきの教育に関する調査 ○「人権が尊重されている学校になっていると思う」という問いに対して、「とてもあてはまる」又は「ある程度あてはまる」と回答した小学5年生、中学2年生、高校2年生の割合（4段階評価）
施策7	特別支援学校高等部卒業生の就職率	24.9% [H27～ H30平均]	30.0%	○特別支援学校中学部・高等部卒業生の進路状況調査 ○特別支援学校高等部卒業生に占める就職した卒業生の割合
施策8	ふるさが好きだと思う児童生徒の割合	小93.4% 中87.3% 高86.5% [H27～ H30平均]	小95.0% 中90.0% 高90.0%	○みやぎきの教育に関する調査 ○「宮崎県や自分の住んでいる市町村など、ふるさが好きである」という問いに対して、「とてもあてはまる」又は「ある程度あてはまる」と回答した小学5年生、中学2年生、高校2年生の割合（4段階評価）
施策9	将来の夢や目標を持って職業や生き方を考えている中学3年生の割合	88.2% [H27～ H30平均]	90.0%	○みやぎきの教育に関する調査 ○「将来の夢や目標を持って、職業や生き方を考えていますか」という問いに対して、「考えている」又は「ある程度考えている」と回答した中学3年生の割合（4段階評価）

施策	推進指標	現状値 [年次]	目標値	出典及び算出方法等
施策 10	児童生徒がICT機器を授業や学習活動などで活用する場面を週に一度以上設定している教職員の割合	小54.2% 中31.8% 高32.3% [H30]	小60.0% 中40.0% 高40.0%	○みやぎきの教育に関する調査 ○「児童生徒がICT機器を授業や学習活動で活用する場面を設定していますか」という問いに対して、「ほぼ毎日設定している」又は「週に一度ほど設定している」と回答した割合（4段階評価）
	国際理解教育（国際教育）充実のための教育活動を推進している学校の割合	小95.7% 中68.8% 高70.0% [H27～ H30平均]	小96.0% 中75.0% 高75.0%	○みやぎきの教育に関する調査 ○「国際理解教育（国際教育）の充実に向けた教育活動に取り組んでいますか」という問いに対して、「積極的に取り組んでいる」又は「ある程度取り組んでいる」と回答した割合（4段階評価）
施策 11	授業が分かりやすいと答えた児童生徒の割合	85.3% [H27～ H30平均]	87.0%	○みやぎきの教育に関する調査 ○小学校の4教科（国語、算数、社会、理科）と中学校の5教科（国語、数学、社会、理科、英語）のそれぞれについて、「授業は分かりやすいか」という問いに対して、「よく分かる」又は「まあまあ分かる」と回答した小学5年生又は中学2年生の割合の全9教科の平均（4段階評価）
	時間管理と健康管理を意識した仕事を行うことができている教職員の割合	65.3% [H30]	75.0%	○県教職員課調べ ○「時間管理や健康管理を意識して仕事を行うことができている」という問いに対して、「そうである」又は「まあそうである」と回答した割合（4段階評価）
施策 12	子どもの安全確保のために、家庭や地域ボランティア等と行動連携を図っている学校の割合	83.9% [H27～ H30平均]	85.0%	○みやぎきの教育に関する調査 ○「児童生徒や学校の安全のために、家庭や地域ボランティア、関係機関等との間で、協力要請や情報交換を行う連携会議を毎年開催し、共通認識と行動連携を図っていますか」という問いに対して、「図っている」と回答した割合（2段階評価）
	避難訓練や防災研修を地域や専門家と連携して実施している学校の割合	91.5% [H27～ H30平均]	95.0%	○みやぎきの教育に関する調査 ○「避難訓練や防災研修を地域や専門家と連携して実施していますか」という問いに対して、「実施している」と回答した割合（2段階評価）
施策 13	一貫性のある教育推進のため異校種間の連携に取り組んでいる学校の割合	小99.3% 中98.8% 高72.8% [H27～ H30平均]	小100.0% 中100.0% 高80.0%	○みやぎきの教育に関する調査 ○「校種の異なる学校間連携の取組を実施していますか」という問いに対して、「実施している」と回答した割合（2段階評価）

施策	推進指標	現状値 [年次]	目標値	出典及び算出方法等
施策 14	日頃から文化に親しむ 県民の割合	50.9% [H30]	77.0%	○宮崎県県民意識調査 ○「日頃から文化に親しんでいますか」という問いに対して、「親しんでいる」又は「少し親しんでいる」と回答した割合（4段階評価）
	県立美術館、県総合博物館及び民家園、県立西都原考古博物館の年間入館者・入場者数及び講座等の受講者数	455,515人 [H26～ H29平均]	470,000人	○県立美術館調べ 県総合博物館調べ 県立西都原考古博物館調べ ○県立美術館、県総合博物館及び民家園、 県立西都原考古博物館の年間入館者・入 場者数及び講座等の受講者数の合計
	県立美術館の年間入 館者数及び講座等の 受講者数	175,167人 [H26～ H29平均]	180,000人	
	県総合博物館の年間 入館者数、民家園入 場者数及び講座等の 受講者数	160,607人 [H26～ H29平均]	170,000人	
県立西都原考古博物 館の年間入館者数及 び講座等の受講者数	119,741人 [H26～ H29平均]	120,000人		
施策 15	全国体力・運動能力、 運動習慣等調査におい て、平均値が全国平均 以上の調査項目の割合	73.6% [H27～ H30平均]	80.0%	○全国体力・運動能力、運動習慣等調査 ○小学5年生及び中学2年生を対象に実施す る全国的な体力・運動能力調査における全 国平均以上の調査項目数／全調査項目数
	運動・スポーツを週1 回以上行っている県民 の割合	42.9% [H30]	50.0%	○宮崎県県民意識調査 ○「健康や楽しみ等のために、運動・スポー ツを行っていますか」という問いに対して、 「週に3日以上」又は「週に1～2日程度」 行っていると回答した割合（6段階評価）
	国民体育大会（国民ス ポーツ大会）の総合成 績（都道府県）の順位	39位 [H30]	20位台	○県スポーツ振興課調べ ○国民体育大会（国民スポーツ大会）の総合 成績（都道府県）の順位